

【米田主宰の俳句】

えんぴつと紙

米田規子

とつくりのセーター―追い風向かい風  
黒いかたまり東京の冬の雨  
ちちとはは白山茶花の明るさに  
ハードルの二つ三つ四つ紅葉山  
えんぴつと紙月の光の二十五時  
静寂から音楽生まれ冬木の芽  
いちにちを使い切ったり聖樹の灯  
へろへろと一人三役実千両  
おさなごに笑窪がふたつ春隣  
ベッドに沈みまなうらの冬銀河